



日本国際飢餓対策機構 (Japan International Food for the Hungry: 略して JIFH) は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体 (NGO) です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、人財育成、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙などに活動を広げてきました。現在は、国際飢餓対策機構連合 (Food for the Hungry International Federation) の一員として、18ヶ国60の協力団体とともに、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、現地パートナーと協力しあって、「こころとからだの飢餓」に応える働きをしています。



# 飢餓対策 News

## 2013年 ONE WORLD カレンダー ご自宅やプレゼント用どうぞ



国際協力カレンダー「地球家族」2013年版のお申し込みを受付ています。壁掛型と卓上型があります。  
壁掛型 縦54cm×横36cm 1部 1,050円  
卓上型 縦12.5cm×横16cm 1部 600円  
お申し込み、お問い合わせは、  
㈱キングダムビジネスまで。  
TEL: 072 (940) 6814  
FAX: 072 (940) 6824  
https://www.kbwin-win.org  
在庫が終了次第、受付を終わらせていただきますので、できるだけお早めにお申込ください。お届けは、お申込順にさせていただきます。

### 世界里親会

子どもたちにクリスマスカードを！  
子どもたちは里親さんからのクリスマスのお便りを楽しみにしています。カードをお送りの際は—  
①里子 ID 番号を必ずお書きください。  
②里親様のお名前にはフリガナをお願いします。  
③カードは **11月15日(木)までに世界里親会(大阪)に届くようお送りください。**期日を大幅に過ぎますとクリスマスまでに子どもたちに届かない場合があります。  
④里子あてに現金や品物を送ることはお控えください。  
⑤事務所へのカードの到着確認はがきが**必要な方**は、その旨をお書き添え下さい。お問い合わせは、世界里親会(大阪事務所)までご連絡ください。

## ハンガーゼロ・サポーター大募集中！

### 今すぐ▶▶▶ 各種支援の お申し込み ができます!!

●まず右の必要事項に記入して、点線の枠部分を切り取りハガキに貼って、下記の大阪事務所宛に郵送、又はこの頁をコピーして、ファクシミリで申し込みください。確認のための必要書類を送らせていただきます。  
**お電話でも申し込みができます。各事務所までおかけ下さい。**

- ハンガーゼロ・サポーターとして協力します。  
毎月 ( ) 円 (1口1,000円)
- チャイルド・サポーター(世界里親会)になりたいので説明書(申込書)を送ってください。
- 海外スタッフ・サポーターとして協力します。  
毎月 ( ) 円 (1口1,000円)
- JIFH(日本国際飢餓対策機構)サポーターとして協力します。  
毎月 ( ) 円 (1口500円)
- 郵便自動引落し申込書を送って下さい。
- その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

フリガナ  
氏名: \_\_\_\_\_ 男・女

〒 \_\_\_\_\_

フリガナ  
住所: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ (電話)

▼申込日: \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日▼

## FAX・072-920-2155

### 食料デー講演者 カリサさん 大阪女学院訪問

大阪女学院高等学校では、学生さんたちが世界食料デーの講演者、カリサ牧師や REACH の活動について事前に学んでおられ、講演が終わった後、何人もカリサ牧師のところに来て話をしていました。放課後の「囲む会」には15名の学生が集まり、講演の感想や質問の時を持ちましたが、ルワンダで起こった虐殺から人々が立ち直るためには「癒しと和解」が必要であるということを知り、それを自分の生活に引き寄せて癒しと和解について考える人、また世界で何



が起っているのか、正確な情報は自分たちで責任をもって集める必要性を感じた人がいました。また国連で働きたい、貧しい人たちのために働きたいと語る学生もいて、彼女たちの熱意が伝わってきました。「アフリカに行きたい!」そんな声もあがっていました。

ハンガーゼロ・サポーター 23430。ぜひあなたのお知り合いにもお知らせください。

## 年次報告

### 2011.7-2012.6

今年度も温かいご支援を賜り  
心より感謝を申し上げます

「親亀の背中に子亀を乗せて、子亀の背中に孫亀乗せて～親亀こけたら皆こけた」  
今年も世界食料デー大会に多くの方々にご参加いただき、飢餓と貧困と闘う人々の隣人として、愛の手を差し伸べてくださったことを感謝いたします。ハンガーゼロの世界(飢餓撲滅)が実現することを信じ願い、今年のテーマを「平和と飢餓」として、平和と飢餓・貧困との関係を考えてゆく中で、冒頭の歌の一節が浮かんできました。昭和40年前後にはやった「親亀の歌」の一節です。

人々の自立に向けての営みは、それが農業支援や子どもたちの教育支援、母親への衛生環境教育支援であろうと、どれもが地道に時間を重ね、小さな成果を積み上げてゆかなければなりません。せっかく積み上げた人々の努力も、紛争や内戦によって根こそぎ破壊されてしまいます。だからこそ、それらの土台に平和が据えられなければなりません。平和と親亀が重なりました。「親亀こけたら皆こけた」にならないために、様々な働きと同時に平和を作り上げてゆく必要があります。

10月9日発表の国連飢餓報告では、2010年から2012年の間、ほぼ8.7億人すなわち8人に1人が、慢性的な栄養不足に苦しんでいるとしています。飢餓に苦しむ人々の大半、8.52億人は開発途上国に住んでいます。

そのうちアジア・太平洋地域では過去20年間の経済発展により飢餓人口は約30%減少していますが、アフリカ地域では1億7,500万人から2億3,900万人へと増加、過去4年間だけでも約2,000万人増えています。

この数字の背景には、調査精度の向上や途上国の経済発展などがあると言われていますが経済が発展した途上国においても、最底辺に置かれている人々への社会福祉等には予算は回らず、多くが軍事費に費やされています。そこには平和とは程遠い争いの火種が燻っています。

構築には、過去の紛争や内戦で壊れた関係の修復、心身共に傷ついた人々の癒しなど既に起こった

敵対関係の和解と共生への具体的取り組みと共に、二度と繰り返さない未来をつないでゆく予防的取り組み、つまり将来の国を担う子どもたちへの「善隣共生」(善き隣人となって共に生きる)教育がなされる必要があります。

飢餓対策ニュース今号は、昨年の活動を報告させていただく年次報告版です。感謝を込めてご報告させていただくとともに、さらに平和を作り出す人財育成、人々の自立に向かう働きを通して、ハンガーゼロの世界を目指して邁進してまいります。

日本国際飢餓対策機構 啓発総主事 田村治郎

■発行者 岩橋竜介 大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1 TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構 東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室 TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782

いいね 大募集 キャンペーン Webサイトアドレス http://www.jifh.org/ eメールアドレス general@jifh.org 愛知 〒466-0064 名古屋市中区錦3-8-10 愛知労働文化センター2F TEL(052)731-8111 FAX(052)731-8114

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイトで 広島 〒730-0036 広島市中区袋町4-8 CLCボックス2F TEL(082)546-9036 FAX(082)546-9037

身近に便利になりました 銀行からの振込 郵便振替 クレジット決済 コンビニのATMで現金決済 沖縄 〒901-0156 那覇市市原3-8-1 コリ香ハウス201号 TEL(098)859-4585 FAX(098)859-4540

●郵便振替 00170-9-68590 / 日本国際飢餓対策機構 東北 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6 Eマオ2階E TEL(022)217-4611 FAX(022)217-6651

●他の金融機関からの自動振替 ●クレジット、デジタルコンビニ

毎月、飢餓対策ニュースを皆様にお届けするために、ひばり障害者作業所(八尾市)、生活愛、関西地区のボランティアの皆様が発送作業のご協力をしてくださっています。

# ハンガーゼロ・アフリカ

## アフリカは飢餓人口の増加が続く

国連食糧農業機関 (FAO)、国際農業開発基金 (IFAD)、国連世界食糧計画 (WFP) が10月に共同発表した統計によると、過去4年間でアフリカの飢餓人口が約2,000万人増加、アフリカではいま2億3,900万人、4人に1人が飢餓状態であると報告されました。経済発展により、飢餓人口が減少傾向にあるアジアに対して、アフリカではいまだに飢餓に苦しむ人々が拡大傾向にあります。ハンガーゼロ (飢餓をなくす) 実現への道のりはまだまだ厳しいですが、希望をもって支援に加わってくださるハンガーゼロ・サポーターの輪は着実に広がってきています。

学校給食支援 (南スーダン)



エコストーブ(ケニア・ソマリア)人難民キャンプ

### ハンガーゼロ・アフリカ 2011年7月~2012年6月 支援の活動状況



### ハンガーゼロ・アフリカ 海外パートナー

- FHエチオピア
- FHケニア
- FHウガンダ
- FH南アフリカ
- FHジンバブエ
- 韓国FH
- バルナバス・ファンド
- ストップ・ハンガー・ナウ
- コイノニア教育センター
- シープケアセンター
- ピース国際学校
- ライフ・イン・アバンドンス
- 南スーダン

アフリカでも特にサハラ砂漠南端に帯状に広がる地域では、2005年から続いている自然災害のために農作物の収穫が激減、4人に1人が飢餓に陥るといふ深刻な食糧不足に陥っています。2011年9月に44万人もの人々が押し寄せたケニアのソマリア難民キャンプには、当機構スタッフが国際飢餓対策機構ケニアと共に入り、調理用エコストーブを支援、秋元ハンガーゼロ特別大使はケニアのシープケアセンターを訪れて貧困地区の子どもたちにパンの缶詰を届けました。また当機構はここで学校給食の支援も行っています。

エチオピア・ケニア・ウガンダ・ニジェールでは、現地NGOバルナバス・ファンドとの協力で、緊急食糧パック、ビタミン、粉ミルク、毛布などを支援しました。そのほか上記のような国々で、飢餓貧困に苦しむアフリカの隣人に差し伸べるハンガーゼロ・サポーターの皆さんの愛の手足として、引き続き支援を行っています。飢餓のない世界は、具体的に愛を分かち合うことで物心両面が満たされ、実現するものです。あなたもこの運動に参加して下さいませんか。毎月一口1,000円から始めることができます。

# 東日本大震災・支援活動報告

## からだと心の必要に応じて



震災以来1年8ヵ月、国内・国外から非常に多くの支援や6千人を超えるボランティアの方々の応援があり、それによって多岐にわたる被災者支援を行うことができました。また、国際飢餓対策機構連合 (FHIF) 韓国、米国、カナダ、マレーシアなどのからの迅速な支援、そして震災直後から、サマリタンズパース、クラッシュジャパンとの協力も生まれ、現場で大きな力となりました。

地震発生直後は、全ての機能が麻痺状態の中にあり、パンの缶詰、レトルト食品、日用雑貨、ガ



ソリンなど、緊急的な物資支援を続けました。また避難所の近くや住宅街の通りなどで炊出しを実施、燃料不足で寒い避難所生活が続く方々に、豚汁やお汁粉の温かい食事を提供しながら、会話や祈りで心もリフレッシュしていただけるように心がけました。

また被災者支援に取り組んでいる地域のキリスト教会や民生委員の方々との関係の中で、行政の支援が遅れていた自宅避難者や小規模避難所などのニーズを知り、そ

れに応えるように努めました。大工ボランティアの指導のもと、床下のヘドロの掻き出し、泥にまみれた家財道具の搬出、断熱材とベニヤ板のはめ込みといった住宅再建の応援も行いました。仮設住宅の入居が始まった4月末、物資倉庫を津波被害地域に近い仙台市若林区卸町に移し、仮設住宅の方々が直接支援物資を受け取ることができるようになりました。扇風機や暖房器具、建築資材、中古自転車、野菜、食料品、衣料品などが毎日毎日届けられました。この時期には、仮設入居者の健康面のサポートを目的として、仙台市と名取市の606世帯に中京医薬品の協力のもとに置き薬箱を配布。家庭用常備薬を補充も含めて2年間無料で提供する支援を始め、現在も続けています。

### 》 心の支援 《

物資支援とともに心の支援として、当機構親善大使の福音歌手森祐理さん、上原令子さん、韓国からビューティフルマインド、ヘオルンヌリ、アフリカのウガンダの孤児によるワトクワイア・コンサートを避難所や教会などで多数開催させていただきました。子どもたちには余震やさまざまなストレスから解放されて楽しんでもらおうと、これまでに3回の子どもキャンプを行い、保護者の

方々にも喜んでいただきました。このように広範囲に渡る活動ができたのは、短期・長期に関わらず駆けつけてくださったボランティアの皆様のおかげです。多くの方々が口ぐちに「また来たいです」という言葉を残して帰っていかれ、実際に「また来ました！」と再会できたことは、私たちにとっても大きな励みでした。震災から1年が経過し、宮城県内から範囲を広げて放射能で苦しむ福島の方々のお手伝いができるようになっていきました。子どもたちを内部被ばくから守る主旨の「野菜プロジェクト信州」の送料支援や低線量地での保養を目的とした「福島HOPEプロジェクト」の後方支援も行っています。

### 》 希望の光 《

震災から今まで、本当に多くの方々が東北のために祈り、献げ、実際に来仙して下さったことに心から感謝をいたします。そして宮城県亘理町や仙台市、塩釜市、南三陸町に被災者支援のための新たな拠点が生まれていったことは、私たちにとっても大きな希望の光となっています。当機構は、これからも被災地の人々の「からだと心」の必要に応じていきます。続けての応援をよろしく願いいたします。(東北事務局・伊東)



モリンガ栽培 (ザンビア)

## 支援活動一覧

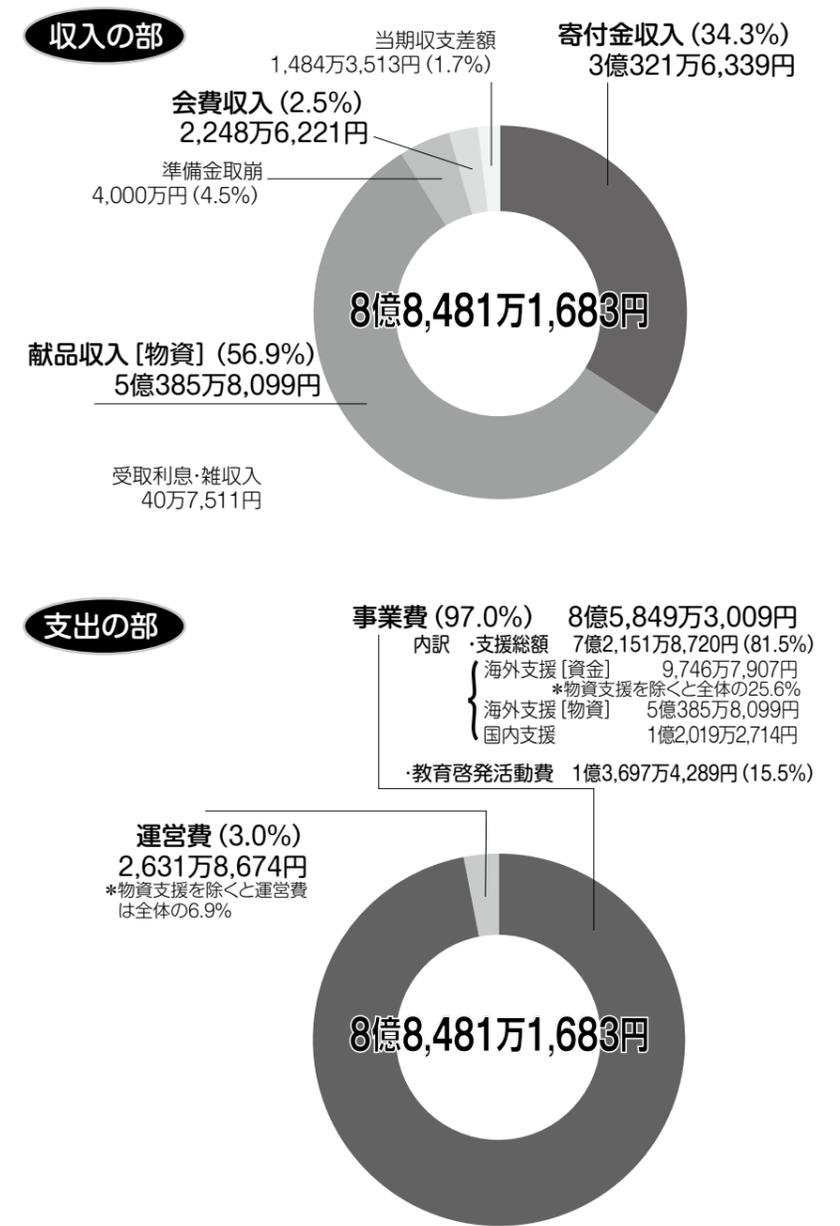
アジア	
バングラデシュ	3,063,834
世界里親会 (リシバラ)	3,063,834
カンボジア	7,259,431
ハガル子ども教育センター豆乳支援 (キリン関連労組)	1,909,337
世界里親会 (オドー・メンチエイ州アンロン・ベン郡)	5,350,094
インド	1,592,600
アシシ障がい児支援スクール支援 (デリー)	790,000
ナブ・ピカス地域変革プログラム支援	802,600
フィリピン	503,943,617
ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン支援	3,934,993
ネグロス島地震支援	397,600
物資	487,516,380
世界里親会 (マニラ近郊パリパン)	3,754,119
世界里親会 (カパタガン)	2,421,747
海外駐在スタッフ/酒井 保・慶子夫妻 支援	5,918,778
マレーシア	1,575,200
テンギラン・ビジョンスクール支援	1,575,200
中華人民共和国	2,149,341
海外駐在スタッフ/中上幸三・敏子夫妻 支援	2,149,341
<b>アジア合計</b>	<b>519,584,023</b>

アフリカ	
ウガンダ	17,627,833
アガベホスピタルミニストリー	644,000
医療品支援 (輸送費含む)	8,961,943
世界里親会	8,021,890
エチオピア	2,190,295
小規模融資と収入向上プロジェクト	2,190,295
ルワンダ	3,318,198
青少年育成、平和構築プロジェクト	1,610,000
ピース・インターナショナルスクール CDP スタートアップ	787,600
世界里親会	920,598
南スーダン	1,701,216
南スーダン ルンベック村学校給食、教師育成	1,701,216
ケニア	5,327,542
シーブケアセンター 給食支援	2,384,900
シーブケア CDP 指導 (浅野、成川)	988,315
シーブケア CDP スタートアップ	795,200
車両支援	792,843
コイノニア・エデュケーションセンター 給食支援	366,284
ザンビア	307,644
モリンガプロジェクト (VOCF)	158,000
貧困家庭児童就学援助と収入向上プログラム	149,644
ジンバブエ	567,072
AIDS 孤児への給食支援	567,072
モザンビーク	173,882
輸送費 (緊急車両)	173,882
ガーナ	196,637
ガーナ・ハンガーゼロ KFHI 経由	196,637
<b>アフリカ合計</b>	<b>31,410,319</b>

南米	
ボリビア	7,325,698
ラクヨ寄宿舎整備・農業指導	306,969
世界里親会 (コチャパンバ州タバカリ郡チャヤ)	4,062,920
海外駐在スタッフ/小西小百合 支援	2,955,797
<b>南米合計</b>	<b>7,325,686</b>
海外緊急援助	
アフガニスタン医療品支援 (輸送費含む)	12,442,111
ニジェール食糧支援	8,015,904
ソマリア緊急食糧支援	6,630,850
ソマリア人難民キャンプ エコストーブ支援	3,887,000
ソマリア緊急援助 (FHI 経由)	240,660
タイ洪水支援	787,100
タイ物資輸送手続代金	11,601
<b>海外緊急援助合計</b>	<b>32,015,226</b>
国内緊急援助	
東日本大震災救援	120,192,714
<b>国内援助合計</b>	<b>120,192,714</b>
その他	
国際飢餓対策機構 2011 年後半活動資金	1,949,000
国際飢餓対策機構 活動資金	3,934,000
国際飢餓対策機構 分担金	1,200,000
ビジョン・オブ・コミュニティ・フェロシップ協力金	1,949,000
ハンズ・オブ・ラブ・アメリカ 支援	1,559,000
元ボリビア駐在&国内事務所勤務 河合朝子 支援	399,752
<b>その他合計</b>	<b>10,990,752</b>
<b>支援合計</b>	<b>721,518,720</b>

\*数字の単位は全て円です。  
\*現地駐在スタッフの支援金には、年金・海外旅行傷害保険などを  
含んでいます。

## 決算報告



以上の通り報告します。

2012年6月30日

一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介



### 監査報告書

一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介 殿

私たち監事 朝倉 幸、山田品一の両名は、  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構の2011年7月1日から  
2012年6月30日までの第2期会計年度における財産増減計算書  
および貸借対照表を監査いたしました結果、適法かつ正確である  
ことを認めます。

2012年8月6日

監事 朝倉 幸  
監事 山田 品一

**第2期決算公告**  
平成24年9月27日  
大阪府八尾市弓削町3丁目74番地の1  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
代表理事 岩橋 竜介  
貸借対照表の要旨  
(平成24年6月30日現在) (単位:千円)

科	目	金額
資産の部	流動資産	74,456
	固定資産	37,093
	合計	111,550
負債財及産部の正部	流動負債	10,697
	固定負債	1,000
	負債合計	11,697
	基金	3,000
	指正味財産	0
	一般正味財産	96,853
	正味財産合計	99,853
	合計	111,550

## 世界里親会

世界里親会は、貧しさのために教育を受けることができない開発途上国の子どもたちと地域のために、教育支援、健康や衛生環境の改善、家族の自立と地域の共生を目指した支援活動を行っています。



## 子どもたちと地域の未来のために

里子一人ひとりの歩みを支えてくださっている里親の皆様、また世界里親会の働き全体を支えてくださっている賛助会員の皆様に感謝をもって、2011年度の活動報告をさせていただきます。

現在はアジア・アフリカ・南米の7カ国で活動を進めております。昨年度は2カ国・2地区での働きを地域に委ねることができました。

### 女子の就学率も向上

1999年の活動開始当時、この地には小学校

しかありませんでした。女の子は学校へ行くこと自体を許されず、男の子も小学校へは通っても、それ以上の教育を受ける学校が地域にはありませんでした。世界里親会スタッフは、『一人ひとりが神様に創られ愛されている価値ある存在であること』を伝え、保護者に教育の大切さを説明しました。子どもたちにも勉強し続けることを励ましました。12年間で得た成果は、学校給食プログラム・高校の設立・学校寮の建設・寮内農業プログラムの仕組みが、村・政府とともに作り上げられたことで、特筆すべきは、高校への進学率と女子の就学率が上がったこと

です。いまでは世界里親会の支援を受けて学んだ子どもたちが、ソーシャルワーカーや政府職員、国際飢餓対策機構ボリビアの職員として社会で活躍しています。

### 地域リーダーの組織が誕生

**フィリピン**  
2012年5月  
マニラ  
バリバラ

2005年に始まったバリバラでの支援活動

は、「地域の一致」によって7年間の活動の実を結びました。地域の人々は、世界里親会から貯蓄・衛生に関する知識を得、美容や工芸品制作など職業に結びつく技術を学ぶことができました。個々の家庭の状況が変わっただけではありません。「CDPカウンスル」と呼ばれる地域リーダーによるグループが組織され、地域で起こる問題を自分たちで解決する力を得ることができました。世界里親会の働きかけによって人々が励まされ、地域の自立が実現したのです。子どもたちはそれぞれに将来の夢を持ち、実現に向けて努力の歩みを進めています。



ボリビアでは教育環境が飛躍的に改善されました



子どもたちへのご支援を引き続きお願いいたします



※ケニアは次年度（7月）から支援開始

### ●ウガンダ

活動地区：ムコノ郡ナマスンビ、キョガ、ミソンバ  
支援里子数：539名

貯蓄ローングループの活用によって、家計が改善する世帯が増えました。また長年の支援により、地域は大きく発展し、2013年8月をもって3つの地区における活動を現地の人々の手に委ねることになりました。

### ●バングラデシュ

活動地区：マイメイシン地区リシパラ  
支援里子数：200名

地域の人々が行うリーダー育成訓練を通して外部からの支援に依存する体質を変える働きかけが行われました。また長年の支援により、地域は大きく発展し、2013年12月をもってバングラデシュにおけるすべての活動を現地の人々の手に委ねることになりました。現在、そのための準備が進められています。

### ●カンボジア

活動地区：オドー・メンチェイ州アンロン・ベン郡5地区  
支援里子数：365名

地域の人々は、農業技術や健康・衛生に関する訓練を受けています。訓練を受けた村人の3人に1人が、習得した技術を実践したいと前向きな姿勢を示しています。また特に最貧層家族の人々が、村の貯蓄グループからお金を借り入れて家畜を飼ったり、商売を始めるなどの収入改善に取り組んでいます。

### ●フィリピン

活動地区：ミンダナオ島ダバオ市カパタガン地区  
支援里子数：146名

毎週火曜と木曜に給食プログラムを行なっています。当初、食材はもちろんのこと調理設備もない状態でした。世界里親会と保護者が掛け合って、学校側の協力を得てプログラムを始めることができました。子どもたちの栄養状態は改善されつつあり、体格もよくなっています。関係者一同とても感謝しています。

### ●ボリビア

活動地区：コチャバンバ州タパカリ郡アワサニ、リオカイネ  
支援里子数：234名（2012年1月に支援開始）

前の活動地タパカリ郡チャヤから車で更に1時間以上の山奥にあり、不便かつ経済的に厳しい地域です。現在は、基本的な公衆衛生や灌漑、飲料水、道路の施設整備に懸命に取り組んでいます。子どもたちは、世界里親会の日に学習に必要な学用品セットを受け取り、意欲的に学んでいます。

### ●ルワンダ（ピース・インターナショナルスクール）

活動地区：首都キガリ地区、ニャンザ地区  
支援里子数：120名（2012年1月に支援開始）

キガリ地区では主にコンゴから難民として逃れてきた子どもたちを、ニャンザ地区では国全体が貧しいルワンダでも特に最貧困層に属する子どもたちを受け入れ、教育の機会を無料で提供しているピース・インターナショナルスクールを支援しています。

### 日本国際飢餓対策機構 役員・親善大使・海外スタッフ

(2012年7月現在)

#### ■ 理事

岩橋竜介（理事長）、倉沢正則、木村雄二  
崔 信義、清家弘久（常務理事）

#### ■ 評議員

古林寿真子、笠川徹三、岸 好美、吉本慎二  
岡本慎一

#### ■ 監事

山田晶一、朝倉 章（顧問税理士）

#### ■ 親善大使

上原令子（ゴスペルシンガー）、森 祐理（福音歌手）  
ソン・ソルナム（フルート奏者）

#### ■ ハンガー・ゼロ特別大使

秋元義彦（パン・アキモト代表取締役）

#### ■ 在アメリカ特命大使

藤川武彦

#### ■ 海外駐在スタッフ (2012年7月現在)

【フィリピン】 酒井 保・慶子  
【ボリビア】 小西小百合